

平成 2 8 年

第 8 回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 2 8 年 1 1 月 2 9 日

平成28年第8回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【教育総務課】

◇仙北市学校適正配置研究検討委員会について

仙北市の小・中学校の適正配置についての検討・研究を行っている仙北市学校適正配置研究検討委員会は、10月25日に第3回目の委員会を開催いたしました。これまでの委員会で、学校の適正配置について行ったアンケートの分析や、学校適正配置の在り方等について協議を行ってきました。当日の委員会では、「学校統合を検討せざるを得ない状況とはどんな状況か」というテーマで、協議が行われました。現在、これまでの協議内容を整理して、提言書としてまとめる作業に入っております。12月中には、委員会としての提言を取りまとめる予定となっております。

◇仙北市総合給食センター建設検討委員会について

仙北市総合給食センターについては、7月28日に基本計画策定業務委託に係る入札が行われ、長岐設計建設事務所が落札し、12月中の完成を目指して、現在、基本計画策定を進めているところです。

これに係る建設検討委員会は、これまで2回開催され、基本計画の内容検討、整備・運営事業手法、建設予定地等について、協議を行って参りました。

基本計画の完成後に、第3回の委員会を開催し、今後の方向性について再度、協議・検討を行う予定です。

◇東北森林管理局長賞の受賞について

9月7日、秋田県教育庁から、神代小学校が、平成28年度秋田県学校関係緑化コンクールの学校環境緑化の部において、東北森林管理局長賞を受賞することになった旨の通知がありました。

このコンクールは、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象に、緑化教育等に取り組んでいる学校を表彰するものであります。特に、学校環境、花壇活動、菜園活動、緑化教育などの取り組みが、総合的に審査されるもので、学校の教育活動全体での環境教育等に取り組む質の高さが評価されたものです。

神代小学校では、今後とも地域や諸団体と連携した取り組みを積極的に推進していきたいとのことでした。

◇MOA美術館奨励賞の受賞について

9月25日、大仙市の大曲市民会館で、MOA美術館（エムオーエー美術館、MOA Mokichi Okada Associates）県南地区児童作品展の表彰式が行われ、生保内小学校4年の北條雄大（ほうじょう ゆうた）さんが、最高賞にあたるMOA美術館奨励賞を受賞しました。

北条さんの受賞作は、「六情（ろくじょう）の木」という作品名で、生保内小学校に1本だけあるしだれ桜を思いながら、初めての宿泊体験を通じて得た、友だちの大切さや健康のありがたさ、生命の大切さや逞しさを表現したものです。

この作品展には、県南地区24校から絵画373点、書写36点、計409点の出品があり、これらの作品の中から北条さんの作品1点が奨励賞を受賞し、来年2月に静岡県熱海市にあるMOA美術館で行われる全国展に県南地区を代表して出展されることになりました。

教育委員会といたしましては、今後とも、児童生徒の豊かな感性を生かした表現活動を奨励し、文化の薫り高い仙北市の将来を担う子どもたちの育成に努めて参ります。

◇全国学力学習状況調査の結果について

9月30日、全国学力学習状況調査の結果が、文部科学省から公表されました。この調査は4月19日に、小学校6年生と中学校3年生を対象に、国公立の小・中学校が全て参加して全国一斉に実施されたもので、本市でも小学校7校、中学校5校が参加しております。

例年は、8月下旬に公表されておりましたが、一部の集計ミスにより公表が1カ月以上遅れていたものです。

公表された内容によりますと、秋田県は小・中学校ともに、9回連続で全国トップレベルという結果がでております。

本市の小・中学校の結果も報告されており、調査対象の国語及び算数・数学について、小学校、中学校とも全国平均を上回り、概ね良好な結果となっております。

現在、北浦教育文化研究所が学習習慣や学習環境等に関する調査結果を含めた分析を行っており、研究所指導主事が成果と課題を踏まえた授業の改善に向けて、各校での取り組みを支援して参ります。

◇市内小・中学校の給食への地元産マイタケ提供について

10月7日、市内の小・中学校12校の給食で、地元産の「原木マイタケ」が振る舞われました。

このマイタケは、白岩地域運営体（菅原秀俊会長）が栽培したもので、15kgが提供されました。田沢湖学校給食センターでは、マイタケ入りのワカメスープを713食、角館学校給食センターでは、マイタケ入りわかめのみそ汁を1,072食、西木学校給食センターでは、マイタケ入りきつねうどんを335食提供し、各学校の児童生徒は、地元で栽培された安心・安全なマイタケを笑顔いっぱいに味わっておりました。

各給食センターでは、地元産給食食材の使用率向上に取り組んでおりますが、白岩地域運営体のマイタケのように、地元産で2,000食以上の給食食材を確保できるのは、非常にうれしいことで、今後も安全な地元食材を、安心して食べられるよう食材確保に努めて参ります。

◇学校給食展について

10月22日と23日、仙北市産業祭において「ふれあいの学校給食 ～日本型食生活を見直そう～」をテーマに、学校給食展を

開催いたしました。

この学校給食展は、大曲仙北学校給食協議会と大曲仙北学校給食研究会の主催で行われており、今回は仙北市内の3つの学校給食センターの取り組み等を発信し、食育や学校給食への理解を深める目的で行われたものです。

会場には、仙北市内の小・中学校の給食風景の写真や、仙北市の学校給食の実物が展示されたほか、昔と今の給食風景のパネルや、昔の給食、現代の給食、郷土料理のフードモデルなどが展示されました。

また、当日行われた豆つかみゲームは、箸の選び方・持ち方・つまみ方等を、ゲームをとおして楽しく身に付けるもので、老若男女を問わず、多くの方に参加していただき、皆さんの笑顔が会場いっぱいあふれておりました。

今回の開催にご協力いただいた、大曲仙北学校給食協議会並びに大曲仙北学校給食研究会の関係者の方々と、仙北市産業祭の関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、今後も、市内の学校給食センターを中心に、食育と食に関する地域連携を推進しながら、情報の発信に努めて参ります。

◇各教育研究大会について

10月26日に、生保内小・中学校を会場に、「小・中の理科教育の系統性と関連性」を主要テーマに、全県理科教育研究大会が開催されました。

当日は、東京都足立区からの参加者も含め、全県各地から約120人の理科を研究教科とする教職員が集い、公開授業や分科会が行われました。

特に、公開授業において、両校の子ども達の理科実験への意欲的な取り組みや、仮説・検証・考察などが素晴らしく、参加者からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。

今後とも、市内の子ども達の科学的な思考力・判断力・表現力を育

成する授業の構築に向けて、市内小・中一体となって研究を進めて参ります。

11月1日には、仙北市の教職員で組織している仙北市教育研究会が主催する第6回仙北市教育研究大会を、中川小学校、白岩小学校を会場に開催いたしました。

当日は、市内小・中学校の教職員約170人が一堂に会し、公開授業のほか、全体会、分科会を行いました。全体会では、中川小学校、白岩小学校のそれぞれの取り組みなどが発表されました。分科会では、仙北市の重点事項であるふるさと学習や学力向上について、市内各校の実践も交えながら熱心に協議を行い、今後の研究の方向性を確認するなど、様々な成果を上げて終了いたしました。

◇角館小学校の公開研究会について

11月11日に、角館小学校で国立教育政策研究所指定事業「教育課程研究指定校事業」小学校・特別活動の公開研究会が開催されました。

この研究会は、平成27年度と28年度の2年間の指定事業で、これまでの研究実践の成果を6学年全ての学級での授業と学年別の研究協議会の場で公開いたしました。

子どもたちは、各学級で司会や記録係といった役割を分担しながら、どうすればよりよい学級になるかといった内容について真剣に考え、活発に発表し合いました。

当日は、福岡県や京都府、埼玉県、栃木県といった遠方からの参加者を含め、120人余りの参加者がありました。授業参観のあとは、熱心な研究協議が行われました。特に評価を受けたのは、全校一体となった組織的・計画的な研究への取り組みと、「互いの違いや多様性を生かす」、「建設的に考える」、「折り合いを付ける」などの児童の思考力・判断力を育てる具体的な取り組みでした。

この日は、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の安部恭子(きょうこ)先生からのご指導とご講演をいただきましたが、

調査官からも角館小学校の取り組みの先進性について高い評価をいただきました。

教育委員会といたしましては、角館小学校の研究成果を市内の各学校に波及させながら、今後も北浦教育文化研究所指導主事の支援を充実させ、来年度、角館小学校で開催される特別活動東北大会の開催に向けた取り組みを充実させて参ります。

◇中学校全県新人大会について

11月12日から13日にかけて、男鹿市運動公園体育館で行われた、第51回秋田県中学校秋季柔道大会で、角館中学校男子柔道部が団体第3位に輝きました。2回戦から登場した角館中は、井川中、二ツ井中に勝利し、準決勝では、御野場中に惜敗しましたが、敗者復活戦で土崎中に勝利し第3位に入賞しました。

個人戦では、男子55kg級で2年の小玉文汰(ぶんた)さんが優勝、同じく60kg級では2年の後藤善春(よしはる)さんが優勝、同じく73kg級で2年の黒澤太雅(たいが)さんが準優勝、90kg級では2年の黒澤翔(しょう)さんが準優勝と、男子8階級のうち4階級で決勝進出という見事な活躍がみられたほか、柔道女子個人戦57kg級で2年の松本唯(ゆい)さんが優勝し、男女で個人戦全県優勝3人という快挙でした。

美郷総合体育館で行われたバドミントン競技では、生保内中1年の三浦悠(ゆう)さんが、個人戦で見事第3位に入賞しました。

三浦さんは、秋田県バドミントン協会強化指定選手にもなっており、12月26日から28日にかけて、青森県黒石市で行われる東北大会での活躍を期待したいと思います。

同じく11月12日、秋田市雄和の県営陸上競技場周回コースで行われた全県新人駅伝競走大会で、角館中学校女子が優勝、男子Aチームが第3位と大活躍いたしました。女子は、田沢湖駅伝、美郷新人駅伝に次ぐ優勝となり、角館中が毎日行っている5分間走や各部で行っている基礎体力づくりが、駅伝大会でも結実したものです。

今後は、冬季間の練習で力をつけて、来春のさらなる活躍に期待したいと思います。

【生涯学習課】

◇花のある街づくりコンクールについて

今年度の「花のある街づくりコンクール」には、個人の部5件、団体の部4件、企業の部4件、地域環境の部4件の合計17件の応募がありました。

3回目のコンクールとなった今年は、仙北市生涯学習奨励員が審査にあたり、現地訪問審査のために、事前の審査勉強会の開催や花の状態を考慮して、審査時期を7月と9月の2回にするなどの取り組みを行いました。10月上旬に、部門毎の最優秀賞をはじめとする各賞を決定いたしました。

表彰式は、10月29日に、仙北市田沢湖地区文化祭開会式終了後、生保内市民体育館において開催し、受賞者のうち2個人、2団体、2企業、4環境保全団体にご出席いただき、賞状の授与を行っております。

◇中川小学校支援地域本部の文部科学大臣表彰について

中川小学校に設置されている「中川小学校支援地域本部」が、平成28年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰に輝きました。

学校支援地域本部事業は、地域住民や保護者等が参画する組織(本部)を作り、地域一体となって学校の活動を支援するものです。具体的には、地域から選ばれたコーディネーターが、学校からの支援や協力の依頼を受け、地域ボランティアに学校からの依頼内容を伝達し、学校活動の支援に結び付けます。

中川小学校支援地域本部は、平成22年度の設置以来、登下校時の安全指導、学校周りの環境整備に加え、特徴的な活動として、田んぼの学習支援「ニコニコ米栽培・販売」、放課後学習支援「まな

びー教室」、伝統芸能継承支援「三省タイム（民謡・手踊り）」を継続的に実施しており、この度の表彰に繋がったものと思われます。

12月8日に、文部科学省で行われる表彰式には、中川小学校の齊藤校長、コーディネーターの黒澤福子さん、同じく黒沢春美さんが出席する予定です。

【公民館】

◇仙北市文化祭について

昨年度は、市制10周年を記念して、統一会場で開催した仙北市文化祭ですが、今年度は例年の形態に戻り、市内3地区において開催されました。

角館地区は、10月15日と16日に角館交流センターで、田沢湖地区は、10月29日と30日に生保内市民体育館で、西木地区は、11月3日に西木温泉クリオンと隣接する西木林業者等健康増進施設を会場に、各地区文化祭実行委員会や芸術・文化団体等が一体となり開催されております。

各地区それぞれに特色があり、日ごろの芸術文化活動の成果である作品を多数展示するとともに、角館・西木地区では芸能発表も行われ、3地区で延べ約1,600人ほどの皆さんが会場へ足を運び、芸術文化を楽しんでいただきました。

【市民会館】

◇第3回市民会館自主事業ロビーコンサートについて

11月12日に、3回目となる自主事業のロビーコンサートを開催しました。

今回は、能代市を中心に、県内で活動するポップスバンド「EOS（イオス）」をお招きし、フォルクローレの代表的な楽器「サンポーニャ」を中心にした演奏会でした。市内はもとより、秋田市や湯沢市から参加したファンなど、80人を超えるお客様で賑わいました。

フォルクローレをはじめ、「与作」、「ルパン三世」など、なじみ

の曲や斬新なアレンジのオリジナル曲まで、幅広い楽曲を圧巻の演奏力で表現し、会場からは大喝采が沸き起こりました。

今後も素晴らしい芸術を市民の皆さんに提供できるよう努めて参ります。

【田沢湖図書館】

◇朗読コンサート「^{あかね}朱音の^{いろ}色」について

11月11日に、朗読コンサート「朱音の色」を開催し、あかの色にまつわる様々な物語とコンサートを楽しんでいただきました。

生誕120周年の宮澤賢治の童話から「よだかの星」、万葉集からは「相聞歌」、そして、郷土の生んだ直木賞作家、千葉治平の実姉である坂本梅子の詩集「挽歌」から、美しい言葉が紡ぎ出す、あかね色の世界をお届けしました。

趣の異なるそれぞれの朗読と、美しい旋律で構成されたステージに、およそ30人の来場者は静かに耳を傾け、詩情豊かなひとときを堪能していました。

来たる12月16日には、クリスマス・コンサートを開催いたします。

今後も、図書や資料の充実だけでなく、多様な年代の方々に楽しんでいただけるイベントを開催し、親しみやすく、楽しんで利用していただける図書館を目指して参ります。

【学習資料館・イベント交流館】

◇新潮社記念文学館名誉館長高井有一先生のご逝去について

新潮社記念文学館名誉館長の高井有一先生が、去る10月26日にご逝去されました。高井先生には、角館図書館後援会主催の文化講演会において、講師を努めていただいたほか、著名な作家を毎年仙北市へ招聘していただき、市民との交流にご尽力を賜りました。生前のご偉功に深く感謝申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

親族による密葬となったため、上京中の門脇市長が弔問に伺いました。12月12日に関係者によるお別れ会を開催する予定とのことですので、その際は、市と教育委員会からも出席し、高井先生にお別れをしたいと思っております。

なお、12月3日からは、館蔵品展「高井有一展」を開催する準備を進めております。亡くなられた高井先生を追悼する企画展になりますので、市民の皆さんからも是非ご覧いただきたいと思っております。

◇第56回文化講演会について

11月12日に、樺細工伝承館で第56回文化講演会が開催されました。新潮社のご協力により、ポスト・モダン文学の旗手であり、テレビやラジオでも活躍されている作家の高橋源一郎氏を講師にお招きし、「14歳で読む本」と題した講演をいただきました。

高橋先生が教鞭を執られている大学ゼミの学生が本を読まなくなっていることや、高橋先生の母親世代と若い世代、そして自分たちの世代では、読む本に違いがあることなど、ユーモアを交えての幅広いお話は、予定時間を大幅に超過するほどに盛り上がりました。参加した150人ほどの聴講者からは、大変素晴らしい講演会だったとの感想をたくさんいただきました。

◇富木友治 橡ノ木の話(とちのきのはなし)展について

8月6日から11月27日まで、富木友治(とみきともじ)の生誕100周年を記念する企画展「富木友治 橡ノ木の話展」を開催し、好評のうちに終了いたしました。

会期中の11月10日には、朗読ボランティア やさいの花の皆さんのご協力により、朗読会「富木友治～橡ノ木の話展にて」を開催したところ、40人の方にご参加いただき、大好評を得ました。

【スポーツ振興課】

◇仙北市総合体育館（仮称）建設調査検討委員会について

11月9日に、スポーツ関係団体（体協・スポーツ推進委員、スポーツ少年団）、学校、観光、商工等の関係者12人により、仙北市総合体育館（仮称）建設調査検討委員会を立ち上げ、第1回目の検討委員会を開催いたしました。

総合体育施設の建設については、第2次総合計画にあるとおり、市民の生涯スポーツ活動や健康づくりの拠点施設として、整備を計画しているものです。

また、全国規模のスポーツ大会などの誘致により、するスポーツはもとより、見るスポーツや支えるスポーツによる、スポーツ参画への意識向上を図るとともに、周辺施設との連携により、多用途な運用が図られることから、全国規模のコンベンションやイベント誘致が可能となり、地域の活性化につながるものと捉えております。

今後、視察研修等を行いながら、利用される市民やスポーツ団体の意向、コンベンション機能と大規模災害時の防災拠点施設としての在り方など、意見、要望等を集約し、提言書をまとめる予定となっております。

◇希望郷いわて国体でのカヌー・弓道の活躍について

10月に開催された希望郷いわて国体において、カヌー成年男子ワイルドウォーター・カヤックシングルで、本市の佐々木優選手が、他を寄せ付けぬ圧倒的な力を見せつけ、3年ぶり2度目の優勝を果たし、国体通算4度目の優勝を飾りました。

本市には、佐々木優選手やリオオリンピックである佐々木将汰・翼兄弟らが使用する練習施設があることから、カヌー競技での東京オリンピック・パラリンピックに向けた、ホストタウン申請を行っています。佐々木選手らの今後の活躍を期待しつつ、カヌー競技のハード・ソフト面の環境整備を進めながら、次世代選手の発掘、育

成へとつなげていきたいと思ひます。

また、弓道成年女子近的では、角館大弓会所属の齊藤美喜子監督、齊藤千明コーチが率いる本県チームが、初の全国優勝の栄冠を勝ち取りました。齊藤監督は、長年選手としても活躍され、今回、初めての国体采配で、優勝という快挙につながったものです。齊藤コーチは、角館大弓会の会長も務められており、お二人のますますのご活躍を期待したいと思ひます。

◇全国スポーツ推進委員研究協議会功労者表彰について

11月17日と18日に、福井県で開催された第57回全国スポーツ推進委員研究協議会において、本市スポーツ推進委員協議会委員長の渡辺勇悦さんが、スポーツ推進委員功労者表彰を受賞されました。

渡辺委員長は、これまで体育指導委員、スポーツ推進委員として永年にわたり地域のスポーツ振興、とりわけニュースポーツの普及に尽力されるとともに、スポーツ推進委員として、自己の研鑽に励んでこられたことが受賞の理由となっています。

今後も、地域のスポーツ振興と市民への生涯スポーツによる健康増進の一翼を担っていただきたいと思ひます。

【文化財課】

◇「角館祭りのやま行事」のユネスコ無形文化遺産登録について

10月31日付けで、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の補助機関は、「角館祭りのやま行事」を始めとして、18府県33件の祭りで構成する「山・鉾（ほこ）・屋台行事」を無形文化遺産に登録するよう勧告しました。正式登録は、ユネスコが、11月28日から12月2日まで、エチオピアで開催の政府間委員会で審査されます。勧告は尊重されるのが通例で、登録は、ほぼ確実であります。

なお、県内では、秋田市の「土崎神明社祭の曳山行事」、鹿角市の「花輪祭の屋台行事」も、ともにユネスコ無形文化遺産登録予定となっています。

◇仙北市史跡巡りについて

11月15日に、市内の史跡巡りとして、白岩城址の史跡見学を実施しました。この史跡巡りは、元秋田県教育庁文化財保護室長の大野憲司氏を講師に、平成26年から開催しているもので、今回は25人の参加がありました。

白岩城址（別名館山城址）は、築かれた年は定かではありませんが、秋田佐竹初代の佐竹義宣（さたけよしのぶ）の弟である多賀谷宣家（たがやのぶいえ）（後の岩城宣隆）が、白岩に平城を築く前、白岩氏が戸沢氏に従属される以前の史跡（推定は1400年代）と思われる。

山頂には、古城神社（荒（あら）神社）があり、当時の遺木と思われる古い松の大木があります。途中の見晴らし台からは、角館城址の古城山はもちろん、南方を望めば、六郷方面も展望することができます。

参加者からは、また参加したいとの声がたくさんあり、郷土の歴史に対する市民の意識の高揚がうかがわれます。仙北市の歴史をたどる企画は、今後も積極的に開催して参りたいと思います。

◇田沢湖郷土史料館並びに武家屋敷公開事業の冬期閉館について

4月20日から公開して参りました田沢湖郷土史料館が、11月10日で冬期の閉館に入りました。松本家も同日で公開を終了し、武家屋敷公開事業の岩橋家と河原田家、小田野家については、11月30日で公開を終了します。

なお、岩橋家では、かくのだて歴史案内人による「冬がたり」が、12月から3月まで、毎週金・土・日・祝日等に、一日2回開催される予定です。

【平福記念美術館】

◇草薨興宗日本画展について

8月1日から9月22日まで、「没後80年 草薨興宗日本画展」

が開催され、好評を博しました。多くの所蔵者の協力を得て実現した今回の展示は、平福百穂の画塾「白田舎」で学びながら、32歳で早世した草薨興宗の素晴らしい作品が地元に残されていることが改めて確認され、郷土画人の新たな発掘につながりました。

期間中の入館者は、1, 667人となっております。

◇佐藤待子作品展について

10月1日から11月20日まで、「佐藤待子作品展」を開催いたしました。

佐藤待子さんは、仙北市角館町の生まれで、角館高校卒業後にABS秋田放送に入社、番組の広報デザイン等を永年にわたり担当する傍ら、二科展デザイン部門等に出品し、数多くの入賞歴があり、昭和61年には、二科展会員に推挙されました。

可憐な女の子や洗練された大人の女性、郷愁漂う風景をバックに描かれた女性など、94点の作品、イラスト等の展示により、多くの方に楽しんでいただきました。

期間中の入館者は、2, 265人となっております。

◇児童生徒県南美術展について

12月3日から来年1月29日まで、「児童生徒県南美術展」を開催いたします。

この美術展は、子どもたちの美術をとおしての表現力や発想力の向上、芸術に対する興味や関心を引き出すことを目的に、昭和53年から実施しているものです。今年で39回目を迎える、冬の県南地区児童生徒美術展として恒例となっており、11月26日には、秋田大学名誉教授の佐々木良三氏を始めとした審査員による審査を終えております。

子どもたちが、一生懸命描いた力作を多数展示しておりますので、是非ともご覧いただきたく、皆様のご来館をお待ちしております。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げ、教育行政報告といたします。